



観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット

平成 20 年度成果報告会



平成 21 年 3 月 11 日(水) 長崎市筑後町のホテルセントヒル長崎で「観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット平成 20 年度成果報告会」を開催しました。報告会には平成 20 年度道守補・道守補助員養成コース受講生の他、建設業協会・測量設計業協会加盟者、講師、スタッフ、大学関係者等、合計 154 名が出席しました。

前半の平成 20 年度実施報告では、松田センター長を始め実際に講義に関わった講師及び受講生による報告が行われ、地域への周知と平成 21 年度の受講生募集につながるものとなりました。また、後半の基調講演では岐阜大学での人材養成プログラムの紹介など、次年度以降の活動の改善に役立てるための意見交換の場となりました。

スケジュール

13:00 ~ 13:10	【開会のあいさつ】 長崎大学工学部長・茂地徹教授
13:10 ~ 14:50	【H20 年度“道守”養成ユニット実施報告】 インフラ長寿命化センター長・松田浩教授 外部講師(コサカ設計・アソシエーツ代表)・上阪康雄氏 道守補受講生(大栄開発株)・松尾正人氏 道守補助員受講生(久賀島地区公民館主事)・坂谷伸子氏 道守長崎会議事務局長・阿野史子氏
15:00 ~ 17:30	【基調講演】 岐阜大学社会資本アセットマネジメント技術研究センター長・八嶋厚教授 九州工業大学名誉教授・出光隆先生 慶応義塾大学理工学部・米田雅子教授
17:30 ~ 19:30	意見交換会



写真上段：
熱心に聴く会場の参加者

写真下段(左から)：
開会のあいさつをする茂地工学部長、取り組み内容を報告する松田センター長、講師代表の上阪氏



主催：長崎大学 共催：長崎県

後援：長崎県建設技術センター・長崎県建設業協会・長崎県測量設計業協会・長崎県土木施工管理技士会